

扶桑町は、木曾川の恵みを受けた肥沃な土壌に恵まれ、現在も名古屋市のベッドタウンとして繁栄を続けているまちです。

今日のまちの繁栄があるのは、コミュニティや自治会など地域連携の基盤の中で扶桑町で暮らす「みんな」が協力し合いながら、ひとやまちを育んできた積み重ねがあるからだと思います。

2008年（平成20年）に策定した第4次扶桑町総合計画では、「つなぐ手と心で咲かす大輪の花（ひまわり）扶桑町」をまちの将来像と定め、お互いに支えあい、地域を守り、受け継いできた伝統を守りながら、豊かな自然に囲まれ、快適に暮らすことができるまちを育んできました。

全国的に人口減少が進む一方で、扶桑町の人口は現在でも少しずつ増加しています。しかしながら、近い将来には扶桑町でも人口減少が始まると予想されています。このような社会情勢のなかで、これからも「みんな」が誇りと愛着をもち、笑顔で過ごせるまちを実現するため、新しく第5次扶桑町総合計画を策定しました。

第5次扶桑町総合計画では、「みんなの笑顔がかがやくまち 扶桑町」をまちづくりの視点として掲げています。この新しい計画は、アンケートによる意識調査や「ふそう町民会議」などを通じて多くの町民の皆様と一緒に作り上げてきたものです。今後も多様な手段で連携しながら、よりよいまちづくり、活力あるまちづくりを推進してまいります。

さらに、重点的・優先的に取り組む「リーディングプラン」をはじめとした施策を着実に進め、「直面する人口減少問題の解消」や「住みやすいと感じ、ずっと住み続けたいと思うまちの実現」、そして「出生率の維持・向上」に向け、取り組んでまいります。

最後になりますが、本計画の策定にあたりまして、ご意見・ご提言を賜りましたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。



平成30年3月 扶桑町長 千田 勝隆



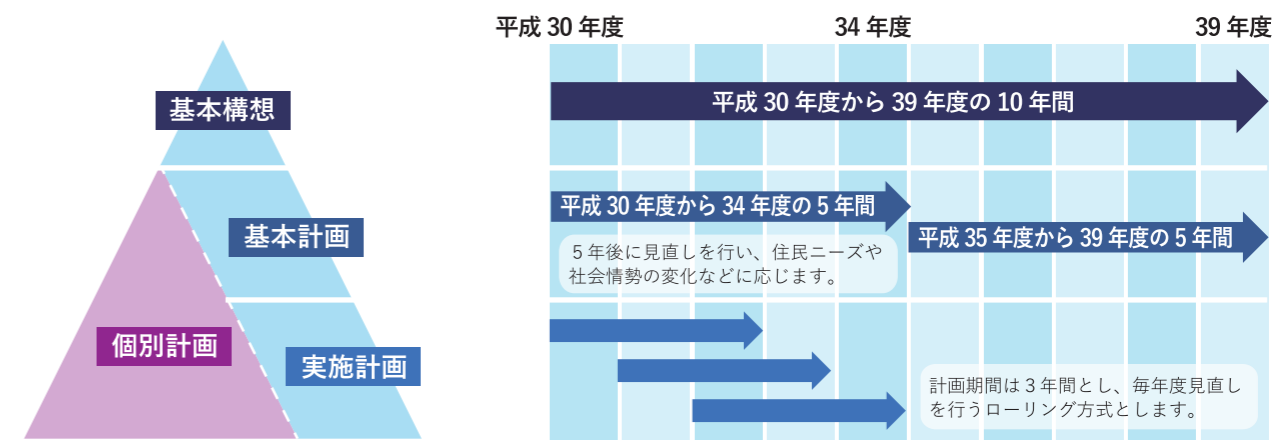
## 第5次扶桑町総合計画とは

総合計画は、町が行うすべての分野にわたる計画の指針となるもので、町がめざすまちづくりの方向や、それを実現するための施策などを定める重要なものです。

多くの町民や町職員の建設的な意見と提案を積極的に取り入れた計画

社会情勢の変化などを踏まえて、これからの時代に対応できる計画

第5次扶桑町総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成します。



基本構想	まちづくりの理念や目標と、目標を実現するための基本的な考え方を示します。
基本計画	基本構想に掲げるまちづくりの理念や目標を踏まえ、分野ごとに具体的な施策の方向と達成すべき施策目標を定めます。
実施計画	基本計画に掲げる分野別の施策の方向に沿って、向こう3年間で実施する具体的な施策・事業の内容を定め、予算編成など本町の行政経営の指針となります。
個別計画	基本構想及び基本計画を踏まえて、各分野で策定する個々の計画を指します。